



秋も深まり、木々が色づき始める季節となりました。秋といえは芸術の秋、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋・・・色々ありますね。秋の夜長、何かに打ち込んでみるのもいいかもしれません。

さて、11月5日、6日のオープンスクールには、たくさんの方にお越しいただきました。「子どもたち頑張っていますね。」「明るい雰囲気ですね。」などと温かいお言葉をいただきました。引き続き、子どもたちの楽しく充実した学校生活のため、支援していきたいと思ひます。

学校行事予定



令和6年度 12月

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 3 (火) 小学部 学習発表会 | 19 (木)・20 (金) 短縮授業 11:40 下校 |
| 4 (水) 中学部 学習発表会 | 23 (月) 冬季休業開始 |
| 6 (金) 高等部 学習発表会 | 高2 能開職能評価 (~26) |
| 10 (火) 小6 学校間交流 (天満東小にて) | |
| 16 (月) 県教育委員会学校訪問 | |

※行事や授業予定は今後変更もあります。変更時は本校 HP にてお知らせします。

いなみ野特別支援学校 HP

<https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/inamino-sn/>

QR コードはコチラ! ⇒



いなみ野の学習活動

青空市場



高等部

11/3(日)神戸しあわせの村で青空市場が開催され、各作業班で製作した製品を生徒会が代表して販売しました。会場には沢山の生徒や保護者、卒業生、先生方が来てくださり、商品を購入して頂きました。生徒会の子どもも十分にやりがいを感じ、充実した1日となりました。



ちょっと

ひとやすみ



表紙の掲載、紹介について承諾を得ています

「障害のある人が使える支援」 又村あおい 著
(一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会常務理事)

(療育手帳?もらうにはどうしたらいいの?)(障害福祉サービス?)(障害年金のしくみは?)(就労移行支援って?)・・・よく耳にするけれど、「説明してください。」と言われたら今いち分からないこと、そんな「支援」について、とても分かりやすくまとめられた本です。難しい本は読み始めるまでのハードル高いですよ? (私だけでしょうか。)でもこの本は大丈夫!先生方にも保護者の方にも是非手にとっていただきたいです。2万5千冊以上の販売実績(本書「おわりに」から抜粋)のあることから、多くの方に好評なのが分かります。

支援のタネ

自分で選びたい・・・

私たちは日々の暮らしの中で「選択」をしています。(今日はどの服を着ようかな。)(どっちのお店がいいかな。)(A校とB校どちらが自分に合っているかな。)(結婚相手は本当にこの人でいい?)些細なことから人生の大きな選択まで「自分で選んで決める」というのは、人生の楽しみそのものに繋がっているのでは?もし全て誰かに決められてしまったら・・・?

でも、実は障害があるというだけで、あるいは子どもというだけで、私たちが勝手に決めてしまっていないですか?子どもたちに何もきかずに「はい、これ着て。」と服を渡したり、子どもの思いをきかず「先にこれから食べ。」と食べる順番を指示したり。もちろん子どもの言いなりになりましょうという意味ではありません。

話せないとしても思いがある一人の人間として尊重した関わりを心がけるなら、自然と子どもたちが「自分で選択する場面」が増えると思います。時間や人手の問題で毎回は難しくても一人ひとりの支援者が意識することで、子どもたちのQOL(生活の質、生きる上での満足度・充実度)が格段に向上すること間違いなしです。

